

# 2019年3月期 決算説明会資料

2019年5月14日  
日本ケミコン株式会社

# CONTENTS

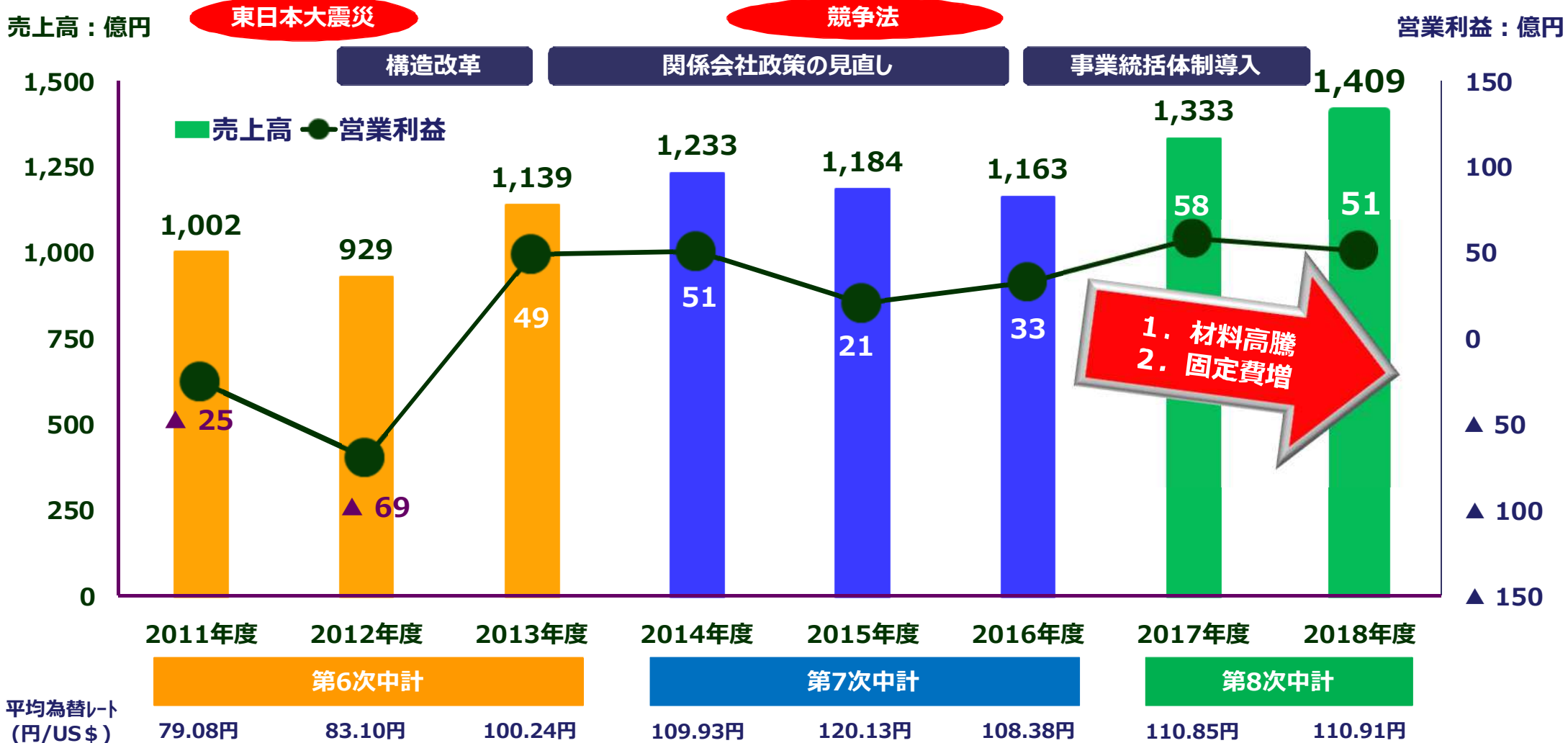
- 2018年度実績
- 2019年度計画

## ● 2018年度業績

12月以降の厳しい事業環境の悪化で、売上高・営業利益ともに直近公表数値から下振れて着地

単位：億円	2017年度	2018年度		増減率	
		直近公表数値	実績	前年度	公表数値
売上高	1,333.6	1,420.0	1,409.5	+5.7%	▲0.7%
営業利益	58.1	60.0	51.3	▲11.7%	▲14.4%
売上高比率	4.4%	4.2%	3.6%	▲0.8pt	▲0.6pt
親会社株主に帰属する 当期利益	▲160.5	18.5	9.1	-	▲50.4%
売上高比率	▲12.0%	1.3%	0.7%	+12.7pt	▲0.6pt
ROA	▲11.3%	1.3%	0.7%	+12.1pt	▲0.6pt
ROE	▲28.6%	3.8%	1.9%	+30.5pt	▲1.9pt
設備投資	75.2	100.0	95.5	+26.9%	▲4.5%
減価償却費	61.0	70.0	64.9	+6.4%	▲7.2%
研究開発費	42.0	41.5	42.8	+1.9%	+3.1%
平均為替レート(円) USドル	110.85	110.36	110.91	+0.06	+0.55

# ● 直近3中計業績推移 (第6次、第7次、第8次)



平均為替レート (円/US\$)



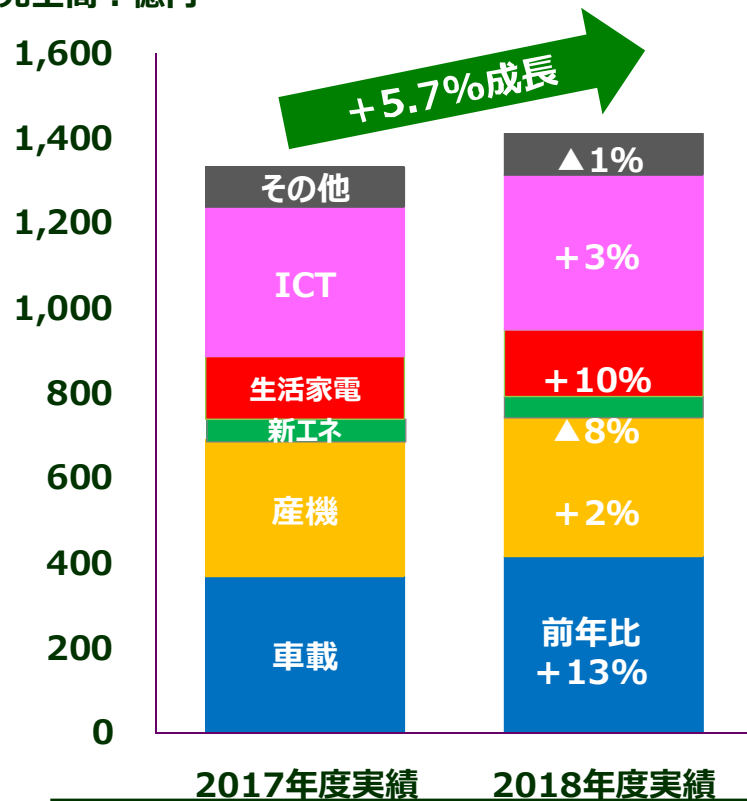
Fiscal Year Ended March 31, 2019

May 14, 2019

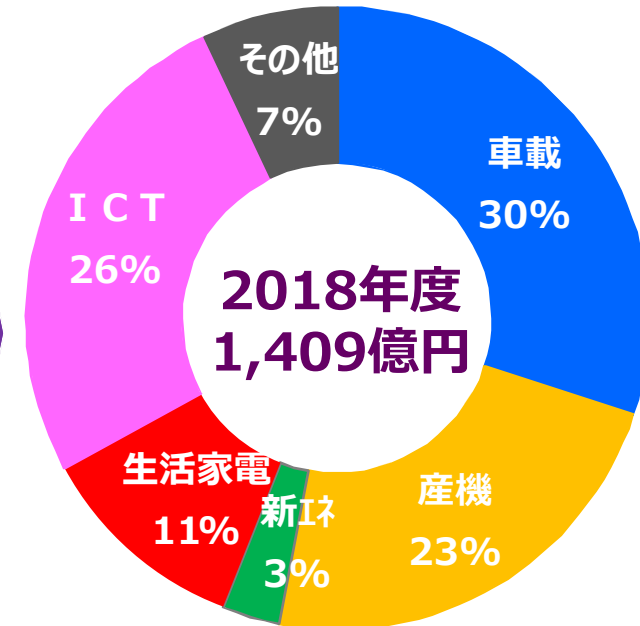
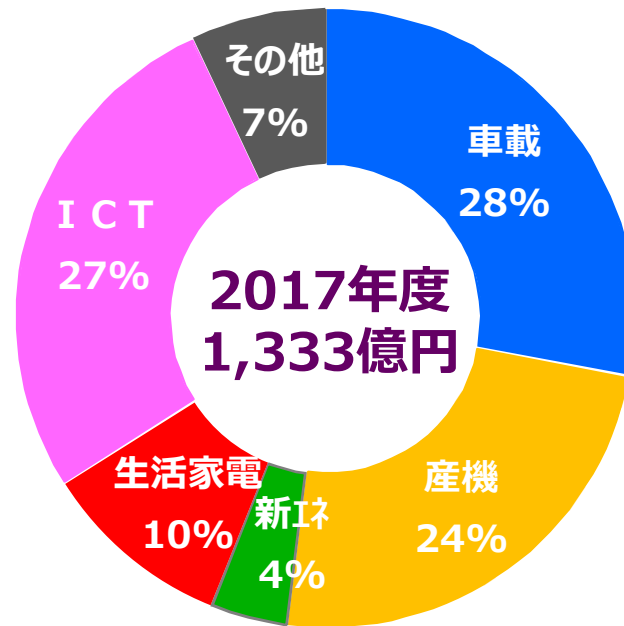
# ● 2018年度の進捗（売上高 2017年度 vs 2018年度）

**エスカレートする米中貿易摩擦  
2018年末から中華圏を中心に大幅な生産調整へ（対前年比+5.7%成長に止まる）**

売上高：億円

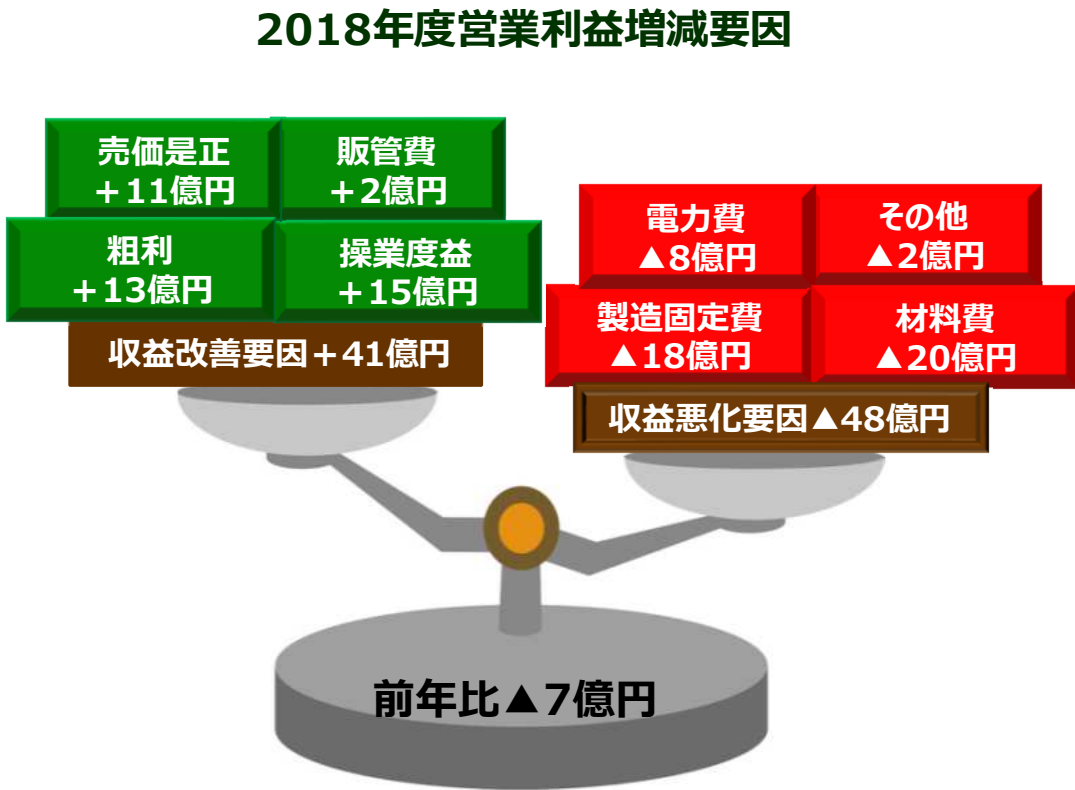
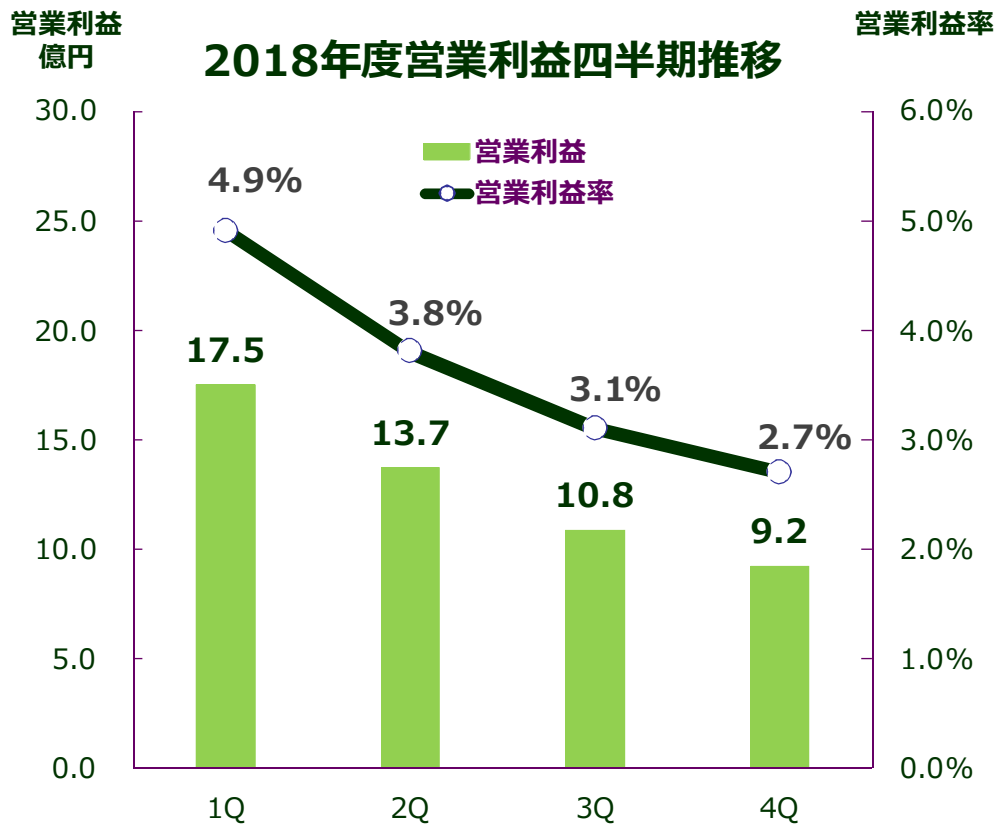


**車載市場が初めて売上構成比30%に！  
48Vマイルドハイブリッドシステム化・ADAS市場が牽引**



# ● 2018年度の進捗（営業利益 2017年度 vs 2018年度）

**収益改善要因** ① 車載、生活家電市場への積極拡販 ② 売価是正効果 ③ SCMの最適化（物流費の改善）  
**収益悪化要因** ① 材料及び電力価格の高騰 ② 部品入手難による設備立上げ遅れ（労務費等製造固定費増加）



# CONTENTS

- 2018年度実績
- 2019年度計画

● 注力市場見通し (INDEX : FY2017=100)

**車載市場**

**電動化**

48Vシステム、EV等の進展

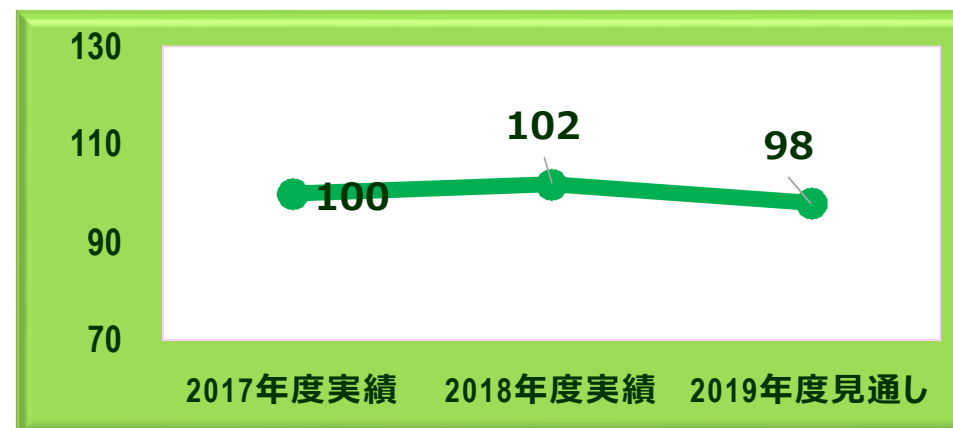
**電子化**

ADAS・ワイヤレスコンユテイング市場の  
更なる拡大



**産業機器市場**

- ① 米中貿易摩擦良化／下期回復へ
- ② スマートファクトリー化  
(IoT、ロボティクス)  
中長期的需要拡大は不変



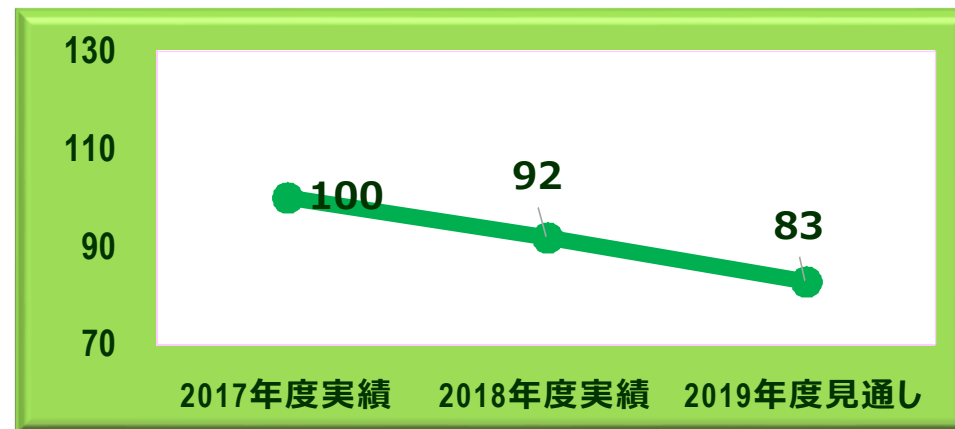


● 注力市場見通し (INDEX : FY2017=100)

新エネルギー市場

太陽光発電市場

中国 復調の兆しは見えない  
蓄電システムの動向を注視



生活家電市場

インバータエアコン

- ① 中国 在庫解消時期と中国政府の景気刺激策を注視
- ② 日本 消費税導入前の駆け込み需要はあるが、2017年並み



● 注力市場見通し (INDEX : FY2017=100)

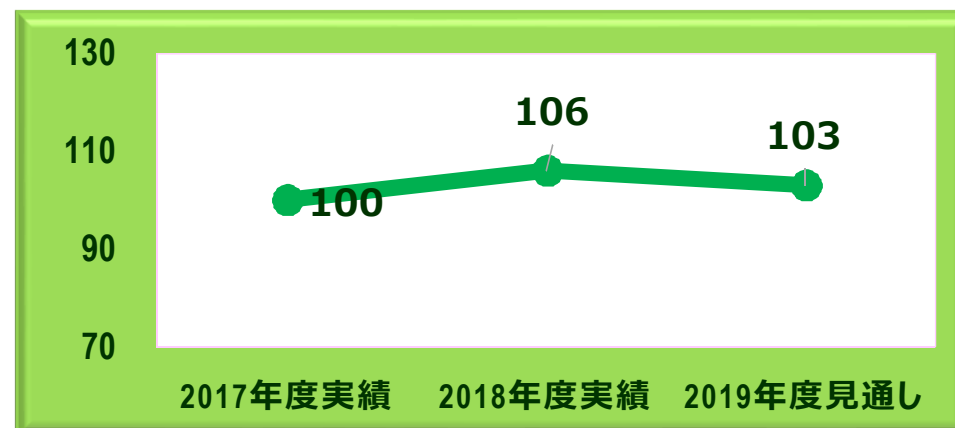
**ICT市場**

**PC** CPU供給問題解消で回復  
**通信** 5G通信基地局インフラの整備開始、スモールセル化で部品需要は増加へ



**全市場**

昨年末より米中貿易摩擦と景気循環の下降曲面が重なり、急激な需要減へ  
 本年度下期より貿易摩擦と在庫調整が良化し、需要は回復に向かう見通し



● 2019年度基本戦略

信頼回復と創業90周年に向けた企業価値向上（株主視点での積極経営推進）

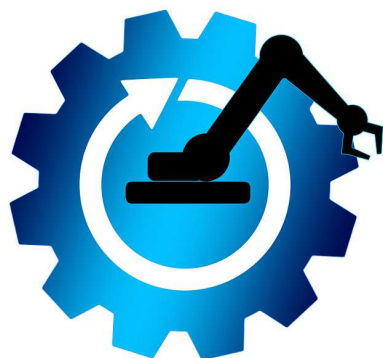
『第9次中期経営計画での2,000億円企業への基盤づくり』

お客様に最高のソリューションをご提供する

車載



産業機器



新エネルギー



生活家電



ICT



● 経営基盤の強化による業績改善目標

## 2019年度目標

### 成長力の強化（車載売上構成比の向上）

- 2017年度28% → 2018年度30% → 2019年度31%へ  
車載向け新製品開発の強化及び導電性・ハイブリッドコンデンサの増産投資実行

### スピード経営の実践による業績の改善（事業統括体制の浸透）

- 製販連携での売上総利益率改善（高収益商品拡販、不採算改善、海外認定）  
2017年度20.7% → 2018年度18.9% → 2019年度19.4%目標
- 戦略市場への提案力のある新商品の上市（新商品比率前年比20%改善）
- 海外工場の再編加速、生産性改善、生産能力向上による競争力強化

## ● 2019年度計画

米中貿易摩擦の影響で売上高はマイナス成長、売上総利益率の改善活動で営業利益改善へ！

単位：億円	2018年度			2019年度			
	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	下期計画	通期計画	前年度増減率
売上高	721.7	687.7	1,409.5	640.0	740.0	1,380.0	▲2.1%
営業利益	31.3	20.0	51.3	15.0	38.0	53.0	+3.2%
売上高比率	4.3%	2.9%	3.6%	2.3%	5.1%	3.8%	+0.2pt
親会社株主に帰属する 当期利益	▲1.0	10.2	9.1	9.0	26.0	35.0	+281.4%
売上高比率	▲0.1%	1.5%	0.7%	1.4%	3.5%	2.5%	+1.8pt
ROA	-	-	0.7%	-	-	2.5%	+1.8pt
ROE	-	-	1.9%	-	-	7.1%	+5.2pt
設備投資	55.0	40.5	95.5	44.0	36.0	80.0	▲16.3%
減価償却費	30.6	34.3	64.9	35.0	39.0	74.0	+13.9%
研究開発費	21.3	21.5	42.8	21.0	22.0	43.0	+0.3%
平均為替レート (円) USドル	110.26	111.55	110.91	110.00	110.00	110.00	▲0.91
ユーロ	129.85	125.14	128.41	125.00	125.00	125.00	▲3.41



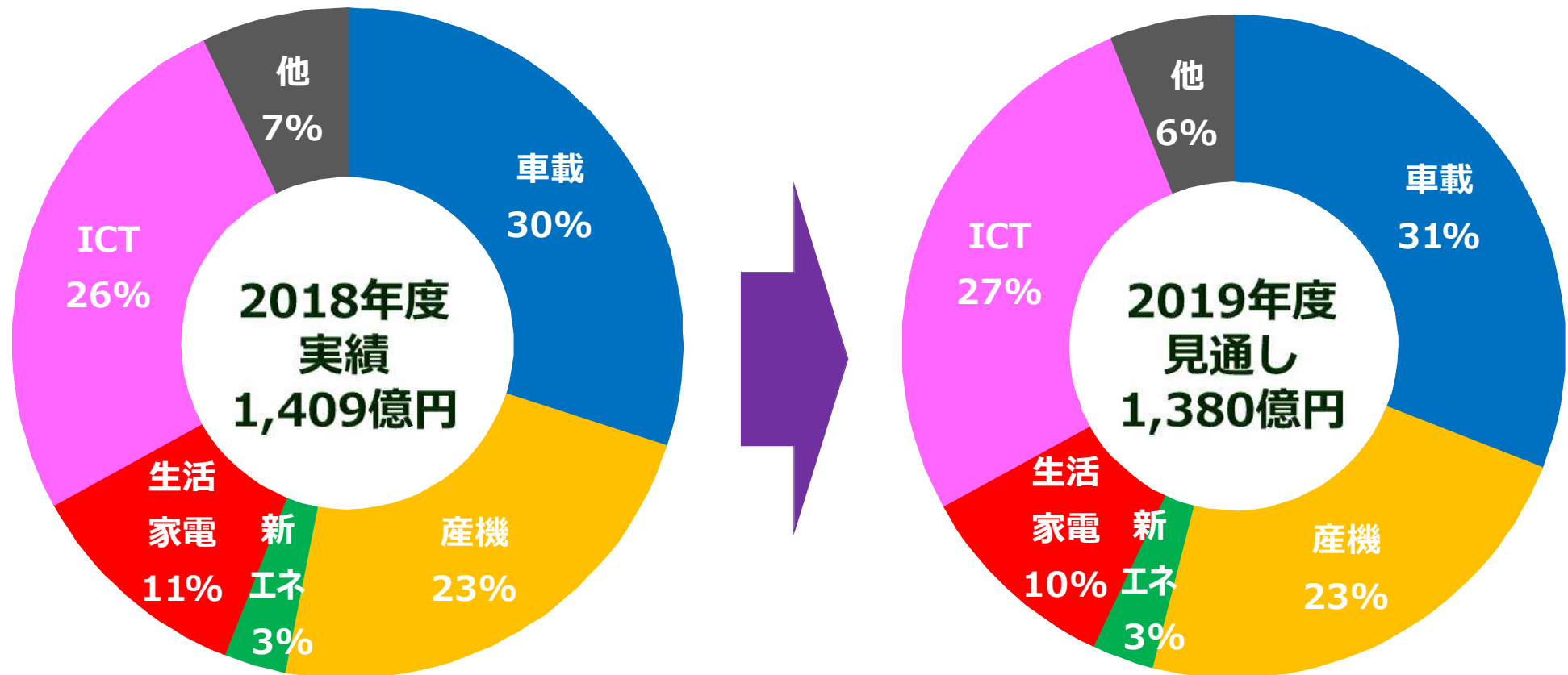
## ● 製品別売上高

アルミ電解コンデンサは微増、コンデンサ材料とその他（リール）が苦戦

単位：億円	2018度 実績	2019年度 計画	増減額	伸張率
アルミ電解	1,184	1,185	+1	+0.1%
DLCAP™	44	48	+4	+8.3%
セラミックコンデンサ、バリスタ	36	42	+7	+18.1%
機構(コイル、モジュール)	35	31	▲4	▲12.4%
コンデンサ材料	68	54	▲14	▲20.8%
その他	42	20	▲22	▲52.4%
合計	1,409	1,380	▲29	▲2.1%

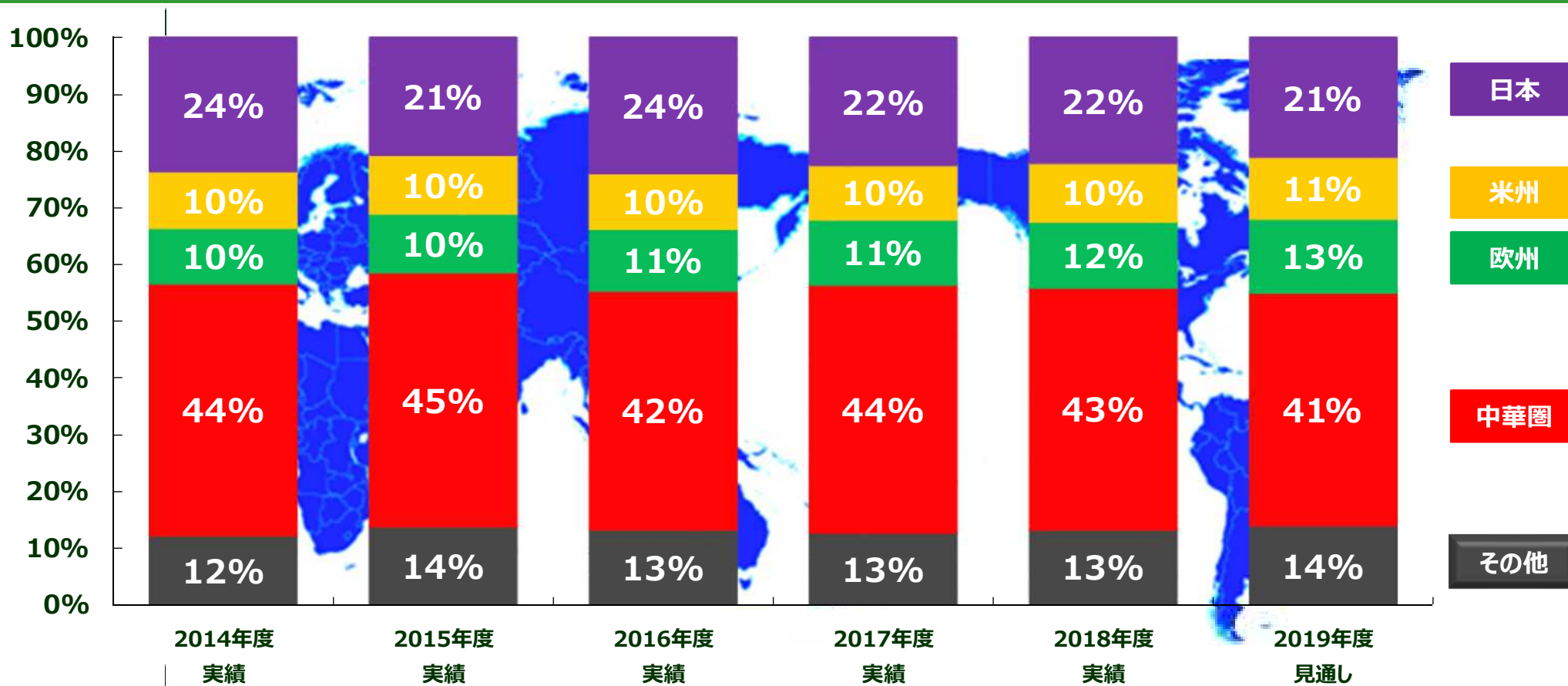
## ● 市場別売上高

車載新市場への導電性・ハイブリッドコンデンサの更なる拡販と通信5Gインフラへの注力



## ● 地域別売上高

米中貿易摩擦の影響で中華圏が構成比を下げ、米州・欧州・その他地域の構成比が上がる





今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

**〔注意事項〕**

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合がございます。また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承願います。投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。本資料の内容に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承願います。

**〔Note〕**

The projected performance figures in this material are based on information available to Nippon Chemi-Con's management at the time this material was prepared. There are many uncertain factors inherent in forecasting, and there might be cases in which actual results differ from forecast values.

Nippon Chemi-Con undertakes no obligation to publicly update or revise any forward-looking statements included in this material. If you are interested in investing in Nippon Chemi-Con, you are requested to make a final investment decision at your own risk.

Please note that neither Nippon Chemi-Con nor any third party providing information shall be responsible for any damage or loss you may suffer due to investment in Nippon Chemi-Con based on the information shown in this material.